

## 【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピースマイル昭島福島町教室					
○保護者評価実施期間	2025年	1月	20日	～ 2025年	2月	10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28人	(回答者数)	20人		
○従業者評価実施期間	2025年	1月	20日	～ 2025年	2月	10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	6人		
○事業者向け自己評価表作成日	2025年	2月	17日			

### ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	固定化されないプログラム内容	運動あそびでは毎週のように新しい物を取り入れていき、一人で行うものから集団遊びまで様々な事を行っている	障がい特性を活かした活動を今よりも多く取り入れる
2	児童発達支援と放課後等デイサービスでの多機能型で幅広い年齢層での関わり	・多年齢で同じ空間での生活の中で年下の子は年上の子を身近なお手本だったり憧れの存在にし、年上の子は年下の子に教えてあげる事や手伝ってあげる事など年上である事の自覚を持つ。 ・児発から放デイに上がり、変わらない環境作り	・全員で遊べる物や協力して遊べる物の導入 ・流行りの遊びを取り入れる
3	毎日決まった時間に活動を行い、教室の流れを分かりやすくする	教室の1日の流れを固定化することにより、利用者に分かりやすく且つ見通しを立てやすくし、場面切り替えがスムーズにいきやすいようにしている	ルーティン化をし過ぎると飽きられてしまう事もある為、定期的に変化をつけていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	定期的にイベントを行っているが、他事業所に比べ、イベントや外出する機会が少ない	教室の1日の流れを固定化する事により、イベントを入れにくくなっている	・長期休み等で飽きさせないようイベントの機会を増やし、楽しませる ・スタッフの役割分担、イベント係のような物を作る
2	利用者の保護者同士で話せる場が少ない	・保護者同士で話せる場というのを望む声もあれば、望まない保護者も一定数いる為行っていない ・共働き世帯も多いため	本当に必要かどうかの見極め
3	最新のコンテンツの少なさ	流行りに疎い	・情報のアンテナを広げる ・子ども達からも流行りを聞き、取り入れられるものは取り入れるようにする